

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名：グループホーム あい

作成日：平成22年 4月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災訓練は毎年行っているが、地震・風水害に対しては訓練に至っていない。	地域消防団・地域住民の方の協力を得、共同訓練できる。	地域消防団・地域住民への協力依頼と訓練の実施。	6ヶ月
2	6 ・ 8 ・ 3 4 ・ 3 6	言葉による拘束、認知症高齢者の権利擁護、急変や事故発生時の対応、一人ひとりの尊重とプライバシーの確保に対する意識・知識が職員間でバラツキがある。	左記に対する意識・知識の統一とケアへ活かすことができる。	施設内研修・外部研修を通し意識・知識の統一と図りケアに生かしているかを評価する。	12ヶ月
3	29	利用者中心という視点は職員それぞれが認識しているが、職員の思い込みのケアになっている時がある。	認知症の人が困っていることが把握でき、日常生活の中で困らないようなケアができる。	認知症の人の思いと行動についての研修を行い困っていることをしっかり受け止めることの重要性を認識し、利用者の方が困らないようなケアの実践ができるかを評価していく。	12ヶ月
4	2	野菜などの差し入れは時々あっているが、新しい住宅が数多く建ちその方たちとの交流も少ない。また建物が道路より奥にあるため日常的な地域の人の立ち寄りが少ない。	ホーム周囲の新しい住宅の人々との交流ができる。	事業所の秋祭りへの参加を呼びかけていく。近隣へ入居者と共に散歩等に出かける機会を増やす。	6ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

